

令和5年春、柴田町内で一領の鎧が確認されました。調査の結果、寛文事件で命を落とした柴田家5代・柴田外記朝意（ともと）の鎧であることが明らかになりました。兜は室町時代の甲冑師・明珍信家の作、胴は仙台藩で奨励された五枚胴で、安土桃山～江戸初期に実戦を想定して製作された格式の高い鎧です。鎧を納めていた櫃（ひつ）からは、8代宗理（むねさと）が息子の源四郎（9代朝隆）へ送った御守りや、鎧の着初めの儀式に関わる文書も見つかったことから、これらは柴田家に伝えられてきた資料と考えられます。柴田町では、今回新たに確認した資料を、50年ぶりの町指定文化財に登録しました。今回の企画展は、これらの資料を初めて一般に公開します。

### 関連イベント

記念講演会「甲冑の主の物語－柴田朝意と伊達騒動－」

日時 / 令和7年4月26日（土）13：00～15：00（開場：12：00）

会場 / しばたの郷土館（図書館建物）2F 多目的ホール / 定員 60人 / 無料

講師 / 柴田町文化財保護委員 東北大学大学院文学研究科教授 籠橋俊光氏

要予約 3/1（土）より受付 TEL：0224-55-0707（しばたの郷土館）

柴田朝意所用  
鉄鍔地五枚胴具足



柴田家所用  
五枚胴具足



狩野清信筆 柴田外記朝意 部分（個人蔵）



鎧と共に見つかった御守りなどの文書



13代意利（もととし）所用 堤重

展示解説 3/22（土）、4/12（土）、5/24（土）/10：00～ / 無料 申込不要  
※4/26（土）は講演会終了後 15：00～

登城体験「いざ、船岡城へ！」

埋蔵文化財担当者が、今は失われた大手門跡から柴田氏の居館跡三ノ丸へ、船岡城跡に残る城の痕跡を解説しながら登城します。

開催日時 3/29（土）、4/19（土）、5/17（土）/10：00～12：00

無料 申込不要 / 歩きやすい靴・服装

集合場所 / しばたの郷土館 1F ホワイエ（雨天中止）

## しばたの郷土館

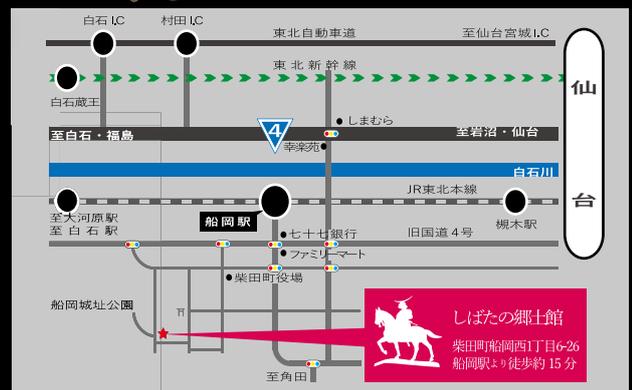
〒989-1603 柴田町船岡西1-6-26

休館日 / 月曜・月曜祝日は翌日

mail/ssigen@town.shibata.miyagi.jp

https://www.town.shibata.mihagi.jp

TEL/0224-55-0707



しばたの郷土館  
柴田町船岡西丁目6-26  
船岡駅より徒歩約15分